

～咬合療法における診査・診断～

咬合療法の実践に留まらず歯科臨床においてもっとも重要な仕事の一つが「診断」です。

かのM・アムステルダム教授曰く「歯科治療の方法は数知れど診断は一つである」

筒井照子先生の名文句に「崩壊の方程式がわからないと治癒の方程式は解けません」

とありますようにどうやって治すか？の前に必ず必要な事であるにも拘らずないがしろにされがちな事も事実です。

今回の研究会では「診断を下す事が出来るようになる」事を意図してプログラムを組んでみました。「儀式としての診査」にならないように診査の項目、精度についても一緒に勉強していきたく考えております。

また筒井先生には前回、参加された方々に大変好評でした「治せてる？パート2」のテーマでご講演いただく予定です。

病院力を上げて素晴らしい結果を創るためにも是非ともスタッフお誘いの上、参加頂けると幸いです。

支部長 坂口 雄一

日時 : 2012年1月29日 (日)

時間 : 10:00 ~16:45

場所 : 神戸 三宮 中華会館 東亜ホール

TEL : 078-392-2711 FAX : 078-392-2811

<http://www.zhonghua-huiguan.com/kai kan/index.html>

会費	:	会員 (Dr) (その勤務医)	5 000 円 (3000 円)
		DH、DT、パラデンタル・スタッフ	2 000 円
		非会員	6 000 円

* 事前登録者のみお弁当有り

咬合療法研究会 例会 タイムスケジュール

2012. 1. 29

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会
- 10:05~10:35 「診査・診断への第一歩」
橋本 正隆 先生
(座長) 任 順興 先生
- 10:35~11:05 「フルマウス リ コンストラクションを行った症例を再考する」
鈴木 勉 先生
(座長) 坂口 雄一 先生
- 休憩 15分
- 11:20~11:50 「さあ、患者さんの話を聞いてみましょうか?」
原田 憲作 先生
(座長) 石原 研 先生
- 11:50~12:20 「包括歯科臨床における診査、診断の重要性について」
藤田 幸彦 先生
(座長) 藤田 亨 先生
- ～ 昼休憩 ～
- 13:05~13:20 「廃棄物適正処理のご案内」
アサヒプリテック(株)
河村 能孝
- 13:20~13:50 「AFM(機能的咬合運動)咬合器の概念と操作手順」
DT 増田 長次郎
- 13:50~14:20 「ストマトロジーと出会って」
池田 伸次 先生
(座長) 常深 伸介 先生
- 14:20~14:50 「骨格性Ⅱ級咬合で咬合崩壊を起こした症例」
原田 知明 先生
(座長) 坂口 雄一 先生
- 休憩 15分
- 15:05 ~16:35 <<基 調 講 演>> 筒井 照子 先生
- * 歯科界 ~なぜ治せない? 他医院からのトラブル症例の原因を
一つずつ検証してみよう!そこに治せる診査・診断が存在する~
- 16:45 閉会

～お申込み～

2012年1月24日(火)までに にん歯科クリニック
(TEL078-452-6122 FAX 078-452-6125)
又はinfo@nin-dc.comまでご返事いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

2011年12月27日

申し込み書

(受講票はありませんのでご注意ください。)

FAX 078-452-6125 にん歯科クリニック

ご出席 _____ 月 日

歯科医院名 _____

会員 Dr, 氏名 _____ 計 名 _____

DT, DH, パラスタッフ 氏名 _____ 計 名 _____

非会員 Dr, コデンタルスタッフ 氏名 _____ 計 名 _____

当日名簿を作成しますので、お手数ですが氏名、職種、参加人数のご記入をお願いいたします。